

## 人事行政の運営等の状況（平成 29 年 12 月 1 日公表）

### 1 任用の状況

#### ① 採用・退職者数

	平成 28 年度		平成 29 年 4 月 1 日
	採用	退職	採用
定年前職員	217 人	94 人	144 人
再任用常時勤務職員	19 人	3 人	30 人
再任用短時間勤務職員	16 人	38 人	16 人

※国・府からの割愛採用を含む

#### ② 部局別職員数

▲はマイナス。

部局名	平成 28 年度	平成 29 年度	増減
市長部局	1751 人(63 人)	1817 人(49 人)	66 人(▲14 人)
消防	334 人(8 人)	344 人(6 人)	10 人(▲2 人)
議会事務局	18 人(0 人)	18 人(0 人)	0 人(0 人)
選挙管理委員会事務局	7 人(1 人)	7 人(1 人)	0 人(0 人)
監査委員事務局	7 人(0 人)	7 人(0 人)	0 人(0 人)
農業委員会事務局	2 人(1 人)	2 人(1 人)	0 人(0 人)
公平委員会事務局	0 人(0 人)	0 人(0 人)	0 人(0 人)
教育委員会事務局	331 人(13 人)	342 人(11 人)	11 人(▲2 人)
水道部	113 人(20 人)	121 人(18 人)	8 人(▲2 人)
合計	2563 人(106 人)	2658 人(86 人)	95 人(▲20 人)

いずれも 4 月 1 日現在。

再任用常時勤務職員数を含み、再任用短時間勤務職員数は( )に外書き。

増減は「①採用・退職者数」の採用と退職の差とは一致しません。

#### ③ 非常勤職員・臨時雇用員の人数

区分	平成 28 年度	平成 29 年度
非常勤職員	531 人	527 人
臨時雇用員	1470 人(585 人)	1545 人(677 人)

いずれも 4 月 1 日現在。

非常勤職員は一般職の数。( )は週の勤務時間が 20 時間以上で任用期間 6 カ月以上の内数。

## 2 人事評価の状況

	良好	やや不良	不良
平成28年度	2608人	24人	9人

## 3 給与、勤務時間その他の勤務条件の状況

### ① 一般職職員給与費

	職員数 (A)	給与費				一人あたりの給与費 (B/A)
		給料	職員手当 ※	期末・ 勤勉手当	計(B)	
平成28年度決算	2549人 (127人)	97億389万円	34億2610 万円	41億 7150万円	173億 149万円	647万円
平成29年度当初予算	2602人 (130人)	102億4118万円	33億6075 万円	43億 7794万円	179億 7987万円	658万円

平成27年4月から課長級以上の給料5%カットを実施。

職員数は、再任用常時勤務職員数を含み、再任用短時間勤務職員数は( )に外書き。

※は扶養手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、管理職手当などで、退職手当、児童手当は含みません。

### ② 一般行政職職員の初任給

学歴		大学卒	短大卒	高校卒
給料月額	平成28年度	17万6700円	16万200円	14万9000円
	平成29年度	17万8200円	16万1700円	15万500円

### ③ 一般行政職職員の経験年数別平均給料

経験年数		10年	15年	20年
平均給料	平成28年度	24万8581円	30万1342円	34万384円
	平成29年度	24万7835円	30万6975円	34万5352円

### ④ 職員の平均給料月額、平均年齢

▲はマイナス。

区分		平成28年4月1日		平成29年4月1日		増減
		平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	
一般 行政職	吹田	31万9783円	42.1歳	31万5029円	41.9歳	▲4754円
	国	33万1816円	43.6歳	33万531円	43.6歳	▲1285円
技能・ 労務職	吹田	30万8156円	46.2歳	31万1010円	47.0歳	2854円
	国	28万7447円	50.4歳	28万6833円	50.6歳	▲614円

吹田市の平成28年4月1日及び平成29年4月1日の平均給料月額は減額後の額

⑤市職員(非常勤含む)と民間の平均給与の比較(平成28年度)

吹田市職員給与	民間給与	差
580万1628円	534万4907円	45万6721円

民間はアルバイトなどを含みますが吹田市はアルバイト(臨時雇用員)を含みません。  
民間は国税庁のデータ(平成28年1~12月)。吹田市は水道部を除く。

⑥期末・勤勉手当支給月数

区分	平成28年度	
	吹田	国
6月	2.025月 (1.025月)	2.025月 (1.025月)
12月	2.275月 (1.225月)	2.275月 (1.225月)
計	4.3月 (2.25月)	4.3月 (2.25月)

( )は再任用職員についての支給月数。

⑦特別職の給料など

役職	給料及び報酬月額	
	平成28年4月1日	平成29年4月1日
市長	105万円	105万円
副市長	92万円	92万円
教育長	81万円	81万円
水道事業管理者	81万円	81万円
常勤の監査委員	57万円	57万円

⑧市議会議員の報酬

役職	報酬月額	
	平成28年4月1日	平成29年4月1日
議長	74万円	74万円
副議長	70万円	70万円
議員	65万円	65万円

⑨その他の手当(平成28年4月1日現在) 特記しているもの以外は月単位で支給

扶養手当	○ 配偶者:1万3000円 ○ 配偶者以外の扶養親族:各6500円 ○ 配偶者がいない場合の扶養親族のうち1人:1万1000円 ○ 16~22歳の子に加算:5000円
地域手当	○ 給料、扶養手当および管理職手当の12%を支給
住居手当	○ 家賃の額に応じて上限2万7000円
通勤手当	○ 電車など交通機関を利用 :6カ月定期券額を年2回支給 ○ 乗用車など交通用具を使用 :通勤距離に応じて年2回支給
特殊勤務手当	○ 危険、不快、不健康など特殊な勤務条件で勤務する職員に、日または月を単位に支給(現場作業特殊勤務手当、消防職員特殊勤務手当など)
時間外勤務手当	○ 主査級以下の職員で正規の勤務時間を超えて勤務したときに支給

⑩退職手当の状況(平成28年4月1日現在)

基礎額		自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
	勤続35年	41.325月分	49.59月分
	最高限度額	49.59月分	49.59月分
調整額	退職前の直近5年間の職務に応じた額		
平均支給額	約2145万円(平成28年度)		

基礎額は国に同じ。調整額は国と同じ制度を段階的に導入。

⑪勤務時間の状況(平成28年度)

- ・1日(基本的な勤務形態)・・・午前9時～午後5時30分(うち休憩時間45分)
- ・1週間 ・・・38時間45分(休憩時間を除く)

⑫休暇などの種別(平成28年度)

- ・年次(有給)休暇、病気休暇、特別休暇(産前・産後休暇、夏期休暇など)、育児休業、部分休業、配偶者同行休業

⑬年次休暇の使用状況(平成28年1月1日～12月31日)

- ・年次休暇の平均使用日数・・・11.35日

4 休業の状況(平成28年度)

- ・育児休業 ・・・取得者73人
- ・部分休業 ・・・取得者41人
- ・配偶者同行休業・・・取得者0人
- ・看護休暇 ・・・取得者6人

## 5 分限及び懲戒の状況(平成 28 年度)

- ① 分限・・・休職(病気等によるもの)延べ 37 人
- ② 懲戒・・・減給 2 人

## 6 服務の状況

法令等および上司の職務上の命令に従う義務、信用失墜行為の禁止、秘密を守る義務、職務に専念する義務、政治的行為の制限、争議行為等の禁止、営利企業等の従事制限が課せられています。

## 7 退職管理の状況(平成 28 年度)

退職者(再任用職員を除く)の本市再就職状況

退職者	本市再就職者数	
	再任用	非常勤職員
94 人	42 人	6 人

改正地方公務員法が平成 28 年 4 月 1 日から施行されたことに伴い、退職後に営利企業等に再就職した元職員が退職前の職務に関して、一定期間現職職員への働きかけを行うことが禁止されています。

## 8 研修の状況(平成 28 年度)

区分	内容	研修数	受講者数
職場内研修	各職場の業務に関するもの	309件	11442人
主催研修	新任役付職員研修、コンプライアンス研修、環境研修など	69件	5505人
外部派遣研修	技術講習会、先進都市派遣研修など	257件	409人
職員自主研修	自主研究グループ活動など	12件	112人

## 9 福祉及び利益の保護の状況

### ① 福利厚生制度(平成 28 年度)

厚生制度	安全衛生・健康管理	市などが実施する健康診断などの事業
	健康促進、レクリエーションなど	吹田市職員厚生会が実施する福利厚生事業
共済制度	大阪府市町村職員共済組合等が実施する長期給付事業、短期給付事業、福祉事業、保健事業	
公務災害補償	地方公務員災害補償基金が実施する療養補償、休業補償、障害補償、遺族補償など	

### ② 勤務条件に関する措置の要求、不利益処分に関する審査請求の状況(平成 28 年度)

不利益処分に関する審査請求(不服申立て) 2 件(内 1 件は平成 27 年度からの継続分)